

資料①

こども計画パブリックコメントの結果

・意見提出者数 17人(32件) ※同様の内容のご意見については1件にまとめさせていただいたものもあります

	ご意見	回答
P40 2産後ケア事業の実施	産後ケアの充実が欲しい。寝不足になりがちだから、こどもも丸ごと預かってくれて、ゆっくり休めるといい。産後のママの体ケアに、補助が欲しい。骨盤矯正やおっぱいマッサージやママのマッサージの補助券(チケット)があるといいな、出産できる病院が少ない。医療センターはハードルが高い。授乳期間のママの栄養相談がほしい	現在、産後ケア事業としてはアウトリーチ型(訪問型)を実施しております。助産師がご自宅を訪問して育児相談や産後の体調管理、母乳育児相談、必要時にはマッサージなどの直接ケアも実施しておりいずれも無料で受けることができます。産後1か月前後の赤ちゃん訪問や市のホームページ、ゆつつら子育てアプリでご案内をしているところです。 また、杵藤地区管内市町において産科医療機関に協力していただき、産後の宿泊やデイサービスの実施体制整備を進めております。産後ケア事業については必要な事業であると認識しており、地域資源の開拓と併せて今後もさらなる充実を図ってまいります。 出産医療機関の確保については、身近な地域で安心して出産できる環境を整備するよう県を通して国に要望を行ってまいります。 授乳期間の栄養相談については、赤ちゃん相談を塩田保健センターで管理栄養士が実施しておりますのでご活用ください。 産前産後の心配事やおたずね事は、塩田保健センターまたは市役所健康づくり課へいつでも気兼ねなくご連絡ください。
	専門家の訪問に加えて、産後眠れないママと子どもを丸ごと預かる場所が欲しい。子どもを預かってもらい、ママがゆっくり休める環境が、あるといい。ママの体の回復のためのチケット等の助成があると、よい。産後のママは子育てに懸命になるため、自分の体ケアを考えず、体調不良を起こすことがある。そのため体回復に使えるチケットが支給されるとよい。	

	ご意見	回答
P42 こどもセンターの充実	図書館や子育てに関する市民活動とあるが、センターと図書館が一緒になると考えるのですが、とても利用しやすくなると思います。	現在こどもセンターに図書館の本を月替わりで置いております。また、市民サークルによる絵本の読み聞かせなど様々なイベントを実施しております。現在のところ、センターと図書館が一緒の建物になるという計画はありませんが、今後の施策の参考にさせていただきます。
P44 2)居場所づくり	子ども食堂はもちろん、小学生から高校生までの居場所が必要だと思います。心も体も大きく成長する時期なので、家庭じゃない学校じゃない居場所があることで、子どもたちが嬉野で育ちやすくなるのではと考えます。	嬉野市としても、家庭・学校以外に安心して過ごせるこどもの居場所づくりの重要性については認識しております。しかしながら、居場所の開設・運営に関しては資金面、継続性、安全性など様々な課題があります。今後県や他市町とも情報を共有し、地域全体でこどもの成長を支えることができるよう、こどもの居場所づくりに取り組むNPOや民間企業等、地域資源の発掘と支援を行っていく必要があると考えております。
P44 居場所づくり	子ども食堂の情報を広く発信とあるが、発信するだけでなく、いろいろな場所で行ってほしい。い場所として、小中高生がちょっと立ち寄れる場所が嬉野にはない。計画をお願いします。	
P44 14 小・中連携教育の推進・充実	小学校から中学は、変化が大きいため適応するのに時間がかかる子どもも少なくないようだ。そういう子どもが、スムーズに中学へ進学できるような仕組みがあるといいと思います。	嬉野市では、9年間を通して児童生徒を育成するため、「ろく・さんプラン」による体制づくりを行い、年間を通して小中の先生方がともに研修や情報交換を行う場を継続的に設けています。その中で、児童生徒の指導の状況が共有され、円滑に引継ぎ等ができるようにしています。今後さらに取組を充実させていきたいと考えています。
P45 2・小児慢性特定疾病児童等レスパイト訪問看護事業の活用促進	医療ケア児を受け入れてくれる施設の不足、レスパイト施設が少ないこと、訪問看護の時間も十分ではないようです。医療ケア児の家族支援の拡充をお願いします	実施主体の佐賀県に訪問看護の時間等の拡充について要望していきます。その他については、P56(5)具体的取組6在宅生活の支援で医ケア児等障がいのあるこどもの在宅生活を支援するサービスの充実を図るよう努めて参ります。
P45 性に関する学習機会の充実	児童・生徒がとあるが、小学校低学年からかんがえてあるのですか。幼児期から性教育は大切です。幼児期からお願いしたいです。	性教育については非常に重要だと考えております。各園でも重要分野と捉える園も少なくありませんので教育を推進していきます。いただいたご意見を基に、現在の計画案に次の一文を追加したいと思います。「また、幼児期からの性教育についても、各保育施設での教育や、保護者を対象とした講演会の開催などを通して推進していきます。」

	ご意見	回答
P47 1) 高校教育の就学支援	経済的な家庭のための資金援助であれば、返済義務がない支給にできないか。18歳22歳の時点で借金を抱えての社会人スタートは、子どもにとって大きな負担になると思います。	ご家庭の経済的負担を軽減していくことは重要ですが、支給型の支援は、市にとってもかなりの財政負担となりますので、慎重にならざるを得ない状況です。給付型であれば、佐賀県高校生等奨学給付金がありますので、ご検討ください。
P49 こども基本法・子どもの権利条約に関する普及啓発	国や県の子ども条例の普及も大切ですが、嬉野市の子ども権利条例があるともっといいと思います。子どもたちが住む嬉野が作る権利条例は、とても身近なものになるのでは・・・	子ども条例の制定につきましては、条例の目的や内容を明確にし、こどもの意見を反映することが必要と考えております。今後、他市町の状況もふまえつつ、検討してまいります。
P53 4嬉野市奨学金貸与	貸与ではなく、支給をお願いします。	嬉野市では、貸与型の奨学金制度を設けており、他の奨学金制度を参考に当市も制度の見直しを行い、貸付対象の拡大や返還期間の延長等、貸し付け条件等の改善を行っています。給付型の奨学金制度については、市の財政状況を含め総合的に検討していく必要があると考えます。
P56 5障がい児の子育て支援の充実	障がい児・者の関わる大人の方の障害児理解が進むように、研修等の充実をお願いしたい 障がい児受け入れ園への加配職員が対応できるよう、補助金の支給をお願いしたい。	現在、障がい児の受け入れ園については加配職員のための補助を行っています。今後は、情報発信・研修等の開催を検討していきます。
P63 5多子世帯負担軽減	多子世帯に関わらず、子どものいる家庭への3歳未満の保育料の軽減もしくは無償化をお願いします。未満児保育料が高いのは、多子世帯だけではないの。子どもが一人でも、保育料を安くしてほしい。	現在、保育料検討会議の中で有識者や市民代表(保護者)の皆様とともに保育料のあり方について議論し、市の財政状況や保育サービスの維持・向上の必要性も踏まえながら、持続可能でより多くの子育て世帯にとって負担の少ない仕組みを模索しているところです。保育の質を確保しつつ、負担軽減に向けた方策を検討してまいります。
P77 一時預かり事業	保育料の負担軽減で、第2子以降無料など子育てに対する支援をしてほしい。	

	ご意見	回答
P63 6ファミリーサポートセンターの利用料の負担軽減	無料券を全員に配布されているが、小学生くらいまで毎年もらえるとありがたい。利用料も300円くらいに値下げできないか。(市内外在住者に関わらず500円なので、市内・市外の料金の差をつけてほしい)一時保育が使えない時に、同等くらいの金額で利用できると利用しやすい。白石の支援センターのように、専任の保育士さんがいて急に親の体調が悪くなった時にあずけられるところがあると嬉しい	現時点では、ファミサポ無料券の拡充、一律の利用料引き下げ、子育て支援センターでのお子様のみのお預かりについての予定はありませんが、今後もより利用しやすい制度となるよう、いただいたご意見を参考に、ご利用者様の負担軽減について検討を続けてまいります。
	ファミサポの利用料金をもう少し安くできないか。1時間300円くらい、3時間1,000円くらいだと使いやすい	
P64 2地域子育て支援センター	土日祝の開所をふやしてほしい、小学生の利用ができないと年の差兄弟になると遊べる場所がなくなる。子どもたちの触れ合いも増えるので、小学生まで利用できるようにしてほしい。開所時間を9時～17時など少し延長してほしい(武雄や鹿島まで足を運ぶのが大変)未歩行の子どもを抱えて裏の駐車場にとめるのが大変なため、センター前の駐車場が使えるようにしてほしい	地域子育て支援センターについては、育児不安や孤立を防ぐため、親子の交流の場を提供するとともに、育児等に関する相談に応じ、情報交換を行う場として開所しております。現在のセンターの状況では、施設の広さや安全面の課題があるため、小学生以上のお子様連れでのご利用は原則ご遠慮いただいております。年齢に関わらず、また、家族で利用できる場所づくりに関しましては、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
	土日祝日も支援センターの開放をお願いしたいです。場所とおもちゃの提供だけでもいいのでお願いします。実家が近くないので長期休みや夏などは子ども二人を連れて、商業施設はハードルが高いので、ぜひ、開放をお願いします。夏に公園も危険なので、尚更・・・	
P64 4一時預かり	一時保育を望む場合、園の行事等で受け入れが難しい時がある。どんな時期でも受け入れ可能にしてほしい。そのために園側に一時保育を受け入れられるための、補助金の支給をお願いしたい。	現在一時預かりについては専任職員を配置するため補助を行っています。ただし行事等で保育士が不足し受入困難となるケースもありますので、他の園での一時預かりや、ファミリーサポートセンターのご利用もご検討いただければと思います。

	ご意見	回答
P93 1児童扶養手当の支給	児童扶養手当は、収入によって減額されたり支給が停められたりします。夜勤や残業して働いても手当が減額になり、総収入が減ることが起こります。子どもを扶養している期間は、収入に左右されずに支給される手当が欲しいです。	収入に関係なく支給される手当としては児童手当がありますが、国の制度であり市独自の判断で増額することはできません。本市といたしましてもひとり親世帯の経済的負担を軽減することは重要な課題と認識しており、国の動向を注視しながら必要な支援のあり方について引き続き検討してまいります。
全般	市の支援センター、楠風館(リュッケ)の入口を子ども一人で出れないよう安全対策をしてほしい。(自動ドアが危ない)ずっと気が張ってしまう。	子育て支援センター、こどもセンターのご利用にあたっては、小さいお子様がひとりで外に出ることがないように、安全柵を設置したり、職員による見守り体制を十分に確保するよう努めております。年齢にかかわらず、ご利用者様の安全確保や相談時等の配慮については、いただいたご意見を基に改善に向けて検討してまいります。
全般	相談をするときに子どもを別室で預かってほしい。こどもは、どんなに小さくても自分の事を話されていたらわかるもの。聞かれたくないので、相談しやすい環境を整えてほしい。	
全般	食の支援をしてほしいです。	現在、困窮している低所得者世帯についてはフードバンクから提供を受けた食品の提供を行っております。しかしながら資源の制約もありすべての世帯に対して十分な支援は難しい状況です。そのため限られた支援を最大限に活用し特に支援を必要とされる方々に優先的に届けられるよう関係機関と連携し支援の充実を図っていきます。
全般	ミルクとオムツの毎月補助が欲しかった。入学が同時なので、経済的につらい。補助があるといいな	現在、ミルクやおむつの補助はしておりませんが、他市町の状況もふまえて、今後の参考にさせていただきます。
全般	ひとり親世帯や多子世帯だけの補助金だけでなく、2～3人子どもがいる子ども家庭全般に補助や助成金若しくは減税などの対策もあっていいかと思います。	子育て家庭全般に対する助成としては、18歳までの子どもの医療費助成や、ファミリーサポートセンター利用料の助成を行っております。子育て世帯の経済的負担を軽減することは重要な課題と認識しており、いただいたご意見を基に必要な支援のあり方について引き続き検討してまいります。

	ご意見	回答
全般	高校など通学時の便が悪いので何か策を取っていただけたらと思います。	こどもを安心して生み育てられることができ、こどもが健やかに育つまちづくりに向け、いただいたご意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。
全般	一か所で、なんでも済む施設が欲しい。子供の遊び場、行政窓口、カフェ、買い物ができる施設。こどもの車からの乗せおろしはとても大変。全天候型の児童館。小学生も遊べる児童館がほしい	
全般	日・祝日に開いている広場が欲しい。児童館みたいな(土曜日はどちらか開いているから日・祝日開いている遊べるところ)外の公園は、遊べる時期がすくない。ゾーニングしている遊び場もいいな	
全般	意見が出しづらい。計画案を読み解ける人は、子育て世帯は少ない。もっと意見を出しやすくしてほしい。	計画全体をご覧いただいたうえでご意見をいただきたく、計画案全文を掲載しております。今後も、子育て支援センターやこどもセンターなど、身近な場所でご意見をお伺いできるよう努めてまいります。
	図書館のスペースが狭くて使いづらい。3組の親子でいっぱいになる。もう少し広いといいな	本棚と利用スペース配置の検討は行っていますが、これ以上の利用スペースの確保はどうしても難しいです。
全般	母国語で案内が欲しい。日本の文化がわからない。上履きの準備がわからなかった。	嬉野市に観光で来られたり、嬉野市に在住される外国人の方にも情報が届くよう、きめ細かな対応が必要と考えます。行政施設、地域、学校等での情報のバリアフリー化が進むよう、国・県とも連携し、「ひとにやさしいまちづくり」に取り組んでまいります。